

ほくろ・いぼ の治療を受けられる患者さまへ

レーザー治療 スキンケアマニュアル

Skincare leading therapy to success

治療の成功には、
患者さまのご協力が必要です

レーザー治療の成功には、治療後の ていねいなスキンケアが必要です

レーザー治療を受けた患者さまの中には

「治療後すぐにキレイな肌になる」と

お考えの方がいるかもしれません。

しかし、「レーザー照射さえすればいい」のではなく、

治療後に適切なスキンケアを行うことが極めて重要です。

治療後のケアが適切でないときなどに、

「PIH(炎症後色素沈着)」や「はん痕(傷跡)」が

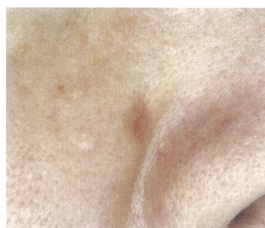
生じる可能性があります。

炎症後色素沈着とは

レーザー照射による炎症のため、照射部位の色が増強して見える状態です。
照射後1ヶ月をピークとし、3ヶ月以降から次第に色調が落ち着いてきます。



治療前

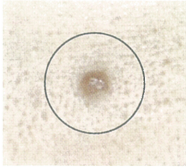


炎症後色素沈着

「炎症後色素沈着」を軽減するスキンケアについては裏面をご確認ください

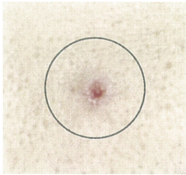
0日目

レーザーを照射



治療直後は、赤みや多少の凹みがある場合がありますが、患部を乾燥させないように軟膏やワセリン等を塗り、物理的な刺激から保護するために

ガーゼや絆創膏で傷を（ _____ 日間）おおいます。



治療する部位によっては、数日ヒリヒリ感やむず痒さを感じる場合があります。

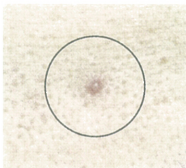
かゆみがある場合でも、掻いたりこすったりしないでください。

説明を
受けました



2週目以降

傷が治り始めます



傷が治った後は、皮膚がピンク色の状態になります。

この時期はデリケートな状態です。

過度な刺激により炎症後色素沈着が生じる場合があります。

炎症後色素沈着を軽減するためにできるだけ治療部位に刺激を与えないようなスキンケアが重要です。

日焼け止め

かさぶたが取れた（当日・ _____ 日後）から使用開始

説明を
受けました

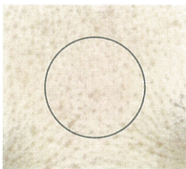


美白剤

かさぶたが取れた（当日・ _____ 日後）から使用開始

2ヵ月目以降

患部が周囲の皮膚となじんできます



赤みや凹みがある場合でも、適切なケアを行ってれば、数ヶ月かけて赤みは軽減し凹んだ部分は盛り上がります。

しばらくは炎症後色素沈着を軽減するためのスキンケアを継続してください。

炎症後色素沈着が生じた場合でもケアを継続してください。

※治療経過には個人差があります。

説明を
受けました



「炎症後色素沈着」を軽減するための スキンケア4つのポイント

1 紫外線対策をして肌を守る

日焼け止めをこまめに塗るなど紫外線対策をしましょう。ノンケミカル(紫外線吸収剤不使用)などの刺激が少ない日焼け止めがおすすめです。

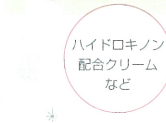


2 摩擦などの、肌への刺激を防ぐ

まずはこすらないで、できるだけ触らないこと。洗顔料の摩擦も皮膚への刺激・炎症につながります。ゴシゴシ洗顔や化粧水などの叩き込みはせず、スキンケアは「優しく、そっと、すりこまない」が重要です。

3 美白剤を使用する

メラニン色素の生成をできる限り抑えるための美白剤を使用しましょう。



4 乳液やクリームでしっかり保湿する

治療部位は特に乾燥しやすく、デリケートな状態です。しっかりと保湿しましょう。

レーザー照射後のケアについて、詳しくは中面をご覧ください

●お気軽にお問い合わせください